

はせなご

2025 秋号 NO.107

ニュース

2025年12月4日(木)発行
NPO法人たすけあい大田はせさんず
理事長 栈敷 洋子
〒146-0082 東京都大田区池上4-28-3
はせさんず(会員制) 03-5747-2610
ヘルパーステーション 03-5747-2816
ケアサポート 03-5747-2800
デイホーム 03-5747-2660
元気かい 03-5747-2605
FAX専用 03-5747-2620

はせさんずは会員制のたすけあいの会です。入会隨時受付!

NPOの非営利活動にご寄付ご支援をお願いします

■皆様の「寄付に支えられて

たすけあい大田はせさんずは、安心して暮らせる地域社会の実現に寄与したいと、会員制たすけあい活動をはじめ、介護保険、障害福祉サービス、介護予防の各事業などに加え、最近は市民後見、ヤングケアラー支援へと活動の場を広げてきました。

しかし、私たちのささやかな活動が地域の中で広く定着していくことを通じて、新し

い市民社会の構築に寄与していくためには、しっかりと財政基盤の上に立った持続性のある活動が必要です。これまでも皆様のご寄付によつて私たちの活動は支えられてきました。『百日草』にも報告しましたが、2021（令和6）年度寄付者は42名、総額243万円を超えていました。今年も皆様のさらなるご支援をお願い申し上げます。金額の多少にかかわらず皆様

の温かいご芳志をいただけね
ば幸いです。

寄付者のお気持ちを大切に
しながら、これから法人運
営に充てたいと存じます。

■ 寄付への税制優遇をめざす

はせさんずは2014年に
認定NPO法人となり、その
後、認定の更新ができませ
でした。が、今年9月に要件を
整え、あらためて東京都へ認
定NPO法人の取得を申請し
ました。

認定N P C 法人は公益性が高いと認められたN P O 法人です。法人は寄付に対する差制優遇措置を受けることが出来ますし、寄付者の皆様に寄付金控除があります。

審査はこれからで、結果可否はわかりませんが、認定取得へ今後も努力していきます。地域で信頼されるN P Cとして、引き続き適切な組織運営や経理・財務処理を行っていきたいと思います。

はせさんずにご寄付ご支援をお願いします

理事長 桂敷洋子

2025年度寄付キャンペーン中

新たな拠点となる建物を 池上の地に！

■ 遺贈がありました

はせさんずで長く支援して
いたご利用者が、7月に逝去
されました。生前、自宅とし
て住んでいた土地・建物など
を、はせさんずに遺贈する旨
の公正証書遺言がありました。
はせさんずは、これまで
多くの皆様からの寄付に支え
られてきましたが、不動産の
遺贈は初めてのことです。

■ 感謝しつつ活用法を検討

大変ありがたいことで、遺
言者の意思を最大限に尊重す
るにはどのように利用すれば
よいか、理事長を中心に関連
が集まり話し合いました。

その結果、遺贈された土地
に新しい建物を建て、活動の
拠点とするのが、遺言者の気
持ちに沿う最善案と方針が決
まり、この方針に従つて計画
を進めています。

■ 事務所機能を移転

現在、はせさんずの事務所
は池上にあり、2年半後には
土地・建物賃貸借契約が終了

するため、移転先となる建物を探していましたが、移転先探しを中止。会員制事務局、ヘルパーステーション、ケアサポートは新たな計画により作る建物に入る予定です。新しい場所は現在の事務所ほど敷地面積が広くありませんが、現事務所の近く、同じ池上の地です。

■事業の安定と拡充へ

これにより、高齢者や障害のある人への支援をはじめ、移送サービスや市民後見などこれまで続けてきた事業を、今後も安定して継続することができるようになります。

さらに、誰でも集まつて樂しめる地域の居場所としていく予定です。また、いつでも困りごとを相談しに寄ることができるなど、いろいろな人に利用される場所にしていきたいと考えています。

計画の進捗状況は随時お知らせします。

ケアサポートの体制が充実しました

利用者をご紹介ください

介護保険制度の質問・相談に応じます

指向民向企著主授東港39

指定店川西謹文援事所
はせさんづ
ケアサポート

介護保険サービスの
利用をお手伝いします

- はせさんずにご寄付いただく場合は以下の方法でお願いします

 - 郵便振替（郵便局に備え付けの「払込取扱票」）
加入者名：大田 はせさんず
口座記号：00190-1 口座番号：162896
 - 銀行振込
三井住友銀行 蒲田西支店 普通 口座番号：6617491
口座名義：特定非営利活動法人たすけあい大田はせさんず
理事長 桟敷洋子
口座名義カナ：トクヒ)タヌケアイオタハセサンズ リジ'チョウ サンジ'キヨコ
 - 現金書留 事務局 乙部 簿

た。これに伴い、利用者に緊急の事態が発生した場合には営業時間外でも転送電話などで連絡・相談に応じる体制を確保したり、実習生の受け入れを通じ人材育成を推進したりと、これまでにも増して地域に貢献できる事業所となる



はせきし ぎゅうり アドレラス info@hasekisenz.com

■ヘルパー研修会
7月30日(水)、Xia・わ・せ

介護代表で東京都認知症介護指導者の安藤文代さんを講師に迎えて「認知症になつても自分らしく生きる支援」をテーマに研修会を実施しました。

また、10月18日(土)には戸谷静夫さんを講師に迎えて「視覚障害者の支援」をテーマに実施。当事者であり、特別支援学校の教員として肢体不自由児の身体機能訓練に長年携わる講師の話は、障害福祉サービスを提供するヘルパーにとって、大きな学びとなりました。両日とも、はせさんず1階にて。



「視覚障害者の支援」研修会の様子

支援ネットワーク

大田区支援ネットワークは介護事業を行う4法人を中心に対し、活動を行っています。これまでにむけた活動を目標にしています。これまでに大田区総合事業の一つである「絆サービス」の立ち上げや担い手養成など、現在は大田区社会福祉協議会に移管されています。①②③家庭訪問型子育て支援事業（②、③は大田区委託事業）などの活動実績があります。

項目	移送サービス	ライドシェア
主目的	移動困難者(高齢者・障害者)に限定した福祉目的の移動支援	地域交通の担い手・移動の足不足解消
使用車両	自家用車(白ナンバー)	自家用車(白ナンバー)
運転者	研修を受けたNPO等のボランティア	一般ドライバー(第一種免許)
利用者	移動困難者に限定	誰でも可
利用料金	実費(タクシーより安いことが多い)	市場価格(実質営業)
法的扱い	道路運送法第78条第2号	道路運送法第78条第3号
介助	介助あり	原則なし(介助は特別料金)
管理者	市町村・NPO・社協など	まずはタクシー事業者



■池上まつり
8月24日(日)、池上まつりが開催され、はせさんずも模擬店を出店。猛暑のなか、参加していける人に向けて「寄り道カフェ」を用意し、たすけあい活動や市民後見などを説明するコーナーを設けました。ヤングケアラー支援「つながる和」のボランティアも支援を拡げる広報を行いました。



はせさんず各部門スタッフより 聞いて! 聴いて!

会員制たすけあい活動

昨年初めて東京都シルバーパスを購入しました。以来、新たな場所はもちろん、通い慣れた場所へ行くにも、このバスだけで行ける経路を探す楽しみが増えました。経済的メリットはもちろんですが、新たな経路は景色が変わり、あたかも小旅行をしているかのように気持ちがリフレッシュする効果大です。住民税非課税以外の人の購入費用は今年安くなりました。未購入の方はぜひ試みてはいかがでしょうか。(高木清彦)

ヘルパーステーション

今年は戦後80年。時代は変わり日々発展してきました。介護も家族介護から地域介護(社会的介護)へと変わっています。しかし、これから超高齢社会で、ヘルパー不足時代になっていきます。住み慣れた場所で地域全体での介護は実現できるのでしょうか。今の状況では、私自身が高齢となり介護が必要になったときがとても不安です。皆さんはどうですか。将来のために何をすればよいか一緒に考えましょう。(笹口文大)

ケアサポート

日本各地で自然災害は想像を超える勢い。過去、東日本大震災にはせさんずの一員として支援に参加したとき人間の無力さを痛感しました。最近では豪雨で呑川氾濫の注意報が出て、雨のたびに付近の人は心穏やかではないはず。私たちにできることは限りがあるかもしれません、まずはケアマネジャーとしてトリアージ(緊急時優先順位)をもとに一人暮らし利用者に安全確認を行える準備をしています。(鈴木敦子)

元気かい

はせさんず元気かいと寄り道カフェは、交流しながら運営されています。そこは、笑顔と楽しさがあふれる大切な空間。仲間とおしゃべりしながら、麻雀、俳句や脳トレを楽しみ、ときには一緒に歌ったり“元気たいそう”で体を動かしたり。日常に小さな笑いが加わることで、心も体も元気になる。ここでは年齢を忘れ、安心して自分らしくすごせる“第二の家”的な場所にしたいと、工夫を重ねています。(佐藤悟)

ヤングケアラー支援

「つながる和。」の活動で子どもたちの悩みともつかないモヤモヤ、鬱屈の表出にふれないと、その世界の小ささ、身動きのとれなさに驚かされる。家庭で、学校で、そんなにも気を張って生きている! 世界は、本当はもっと大きいし、あなたの思うように生きていくよ、大人になれば。今はそこにとどまるしかないとしても。話をしながら、いくらかでもその子の枠・可能性を広げられたらと願っている。(小林恵子)